

平成 23 年 5 月 31 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

中国化薬株式会社に「環境配慮企業支援ファンド」を活用した融資を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給」の趣旨に則り組成した「環境配慮企業支援ファンド」を活用し、中国化薬株式会社（代表取締役社長：神津 善三朗）に対し、融資を実施しました。

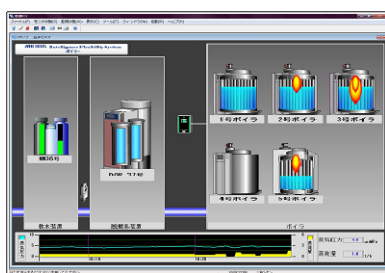
三井住友銀行では、従来より「SMB C 環境配慮評価融資」に積極的に取り組んでおり、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）とで作成した独自の評価基準に基づいた企業の環境配慮状況进行评估することで、先進的な環境配慮経営を行っている企業に対して、積極的な支援を実施して参りました。

「環境配慮企業支援ファンド」は、従来の「SMB C 環境配慮評価融資」の枠組みに、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給」を活用することで、企業の環境配慮経営への支援、並びに日本経済の成長基盤強化への支援に、従来以上に取り組むことを目的に組成したものです。

今回対象となった中国化薬株式会社は、「環境保全対策の取組と成果の状況」「環境マネジメント」の面で高い水準であると判断され、企業経営において良好な環境配慮を行っているとの評価となりました。

特に、①小型蒸気ボイラーや空調設備の更新や太陽光発電システム導入、工場の外灯LED化等を通じてエネルギー投入量削減に取り組まれている点、②2004年からISO14001に基づく環境マネジメントシステムを導入され、環境保全活動を推進されている点、③社内で環境負荷の数値の可視化を率先して実施され、全員での環境配慮取り組みを推進されている点などが高く評価されました。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



小型ボイラー集中管理装置

パソコンを通して小型ボイラーを集中制御することにより効率的に蒸気供給を行い、省エネを図っています。



太陽光発電

事務所屋上に設置された、定格 20 k w のソーラーパネル。発電量がモニターされ、従業員の省エネ意識向上も図っています。

以上